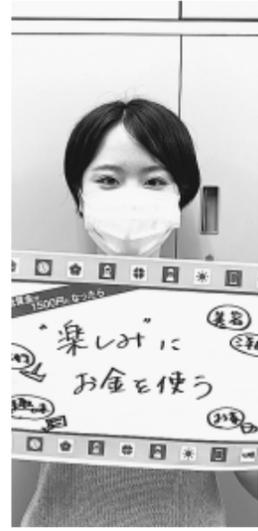


#最低賃金 1500円になったら

病院行きたい
洋服買いたい
野菜食いたい
結婚したい



地評青年協やエキタスがツイッターでモ
 ☆今年の1月に子供が生まれ、パートナーは育児専念で休業中。生活費だけでお金なくなってしまう。おもちを買ってあげたい。
 ☆18歳初任給が時給換算1050円。22歳で1200円くらい。奨学金返済で厳しいって声めっちゃ聞くし。初任給上がってほしい。
 ☆現状、病院行けないし、ない。全国一律に。

東京春闘の調査で、東京で青年が普通に一人暮らしするには、23区も三多摩も、月額16000~17000円台が必要なのがわかりました。全国一律1500円以上めざす運動が活発です。ツイッターでモが始まっています。「#最低賃金1500円になったら」...投稿待っています。プラカードはセブンイレブン・ネットプリントで20日まで(予約番号U4H4XZH)

☆残業しないで定時退社。腰痛の根本治療をする。
 ☆怪我や病気で働けないリスクがあるので、時給でなく年収を目標にしなけりや、と思えます。
 ☆ワンランク上のジャンルを買ってみたい。いつも子供優先で、自分のは後回しなんだよね。
 ☆ライブに行きたい。DVDと服買いたい、髪染めたい。金返したい。結婚したい。

☆公営住宅増えてくれれば、貯金が余裕でできる。ちゃんと医者に行ける。
 ☆引越せる、旅行行ける、婚活できる。
 ☆野菜を食べる機会も増える。おかず増やせる。賃貸料におびえず暮らせる。
 ☆まず歯医者行く。止まらない咳も検査しよう。

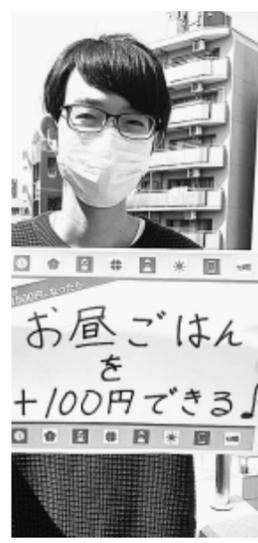
争議支援行動を 全都4コースで展開



明治乳業争議の勝利へシュプレヒコール

7月8日終日、全労連・東京地評争議支援総行動が開催され、19争議が18の社前行動や企業要請などを、延べ1600人の参加しました。また、東京地裁や京都労働委員会、そして9日には最高裁判所要請が行われ、最終のメイン行動となつたJAL本社前の社前行動には約280人が参加し、新型コロナ禍で中断した後、熱気あふれるものとなりました。主催者挨拶に立った全労連小田川議長は「解雇から10年近くたった全労連小田川議長はNTT関連争議、青年ユニオン・オートボックス、アシックス争議、化学一般・三星化学争議、最高裁でたたかう京王新労、郵政ユニオン20条裁判、明乳争議。話し合いを」と呼びかけました。

☆フルタイムで働けばと、りあえず手取り20万円くらい。食費削って病院代出す必要なくなるかも。
 ☆子供とゆっくり向き合える時間が増える。睡眠時間を確保して、病気が減る。
 ☆一度くらい風邪や体調不良で仕事休んでも次の月生活に困らない。
 ☆みんな、ちゃんとしたご飯が食べられて、病気になるば休んで病院行って、それって人並みの幸せなんじゃないでしょうか。



立憲・民主クラブ要請



東京都産業労働局要請

地評が都政要請を継続 立憲民主と産労局にコロナ対策、最賃などで懇談
 都議会会派との要請行動は4会派目の立憲・民主クラブと6月23日に行い、中村ひろし・西沢けいた都議場の声が聞けて良かった。と約一時間懇談しました。新型コロナ対策では、雇用調整助成金を都が一時的立替え払いする制度の創設、都立病院を守り、民間含む医療現場の経営と従事者への緊急支援などを話し合いました。また、最低賃金1500円への賛同と最低生活費調査結果めぐって詳しく話し合い、小規模業者の雇用継続に直接助成する方策についても意見交換。「現場の声を聞いて良かった。深理解を示しました。公契約条例も進めたい」と、7月8日には都知事と産業労働局あてに2月以降3度目の要請をしました。担当課長に、保健所と公務の増員、休業協力金の追加・拡充、住居困難者支援など、コロナ対策を補正予算に盛り込むことを求めました。

ショートカット

最低賃金院内学習会
 国民春闘共闘と東京春闘共闘は6月11日、衆議院第一議員会館多目的ホールにて最低賃金院内集会を開催し、63人が参加しました。中村和雄弁護士、静岡県立大学短期大学部・中澤秀一准教授の講演後、参加した自民党・務台俊介衆院議員、立憲民主党・末松義規衆院議員、国民民主党・奥野総一郎衆院議員、日本共産党・宮本徹衆院議員、社民党・福島みずほ参院議員があいさつしました。
 第4次最賃デー 東京労働局要請
 東京春闘共闘は6月15日、東京労働局に対して最賃引き上げを求める要請行動を行い、32人が参加しました。主催者あいさつと主旨説明を白滝事務局長が行い、参加者からは審議委員の公正な選出と意見陳述の機会を設けること、東京春闘が行った最低生活費調査など実態を反映した資料の提出を求めました。労働局から賃金課長が出席して「19日行動」 国会再開を！とコール
 6月19日、国会議員会館前で「19日行動」を行

われしました。 今回の行動には、廃校宣言と雇止めとたたかう東京私教連・東京国際福祉専門学校争議や解雇とたたかう公共一般メットライフ争議が新たに参加するともに、民事法務協会や昭和ゴム、東電関連の計器工事関連分會などの全国一般の争議、NEC不当解雇争議など電機情報ユニオンの3争議。JMITUのIBMやNTT関連争議、青年ユニオン・オートボックス、アシックス争議、化学一般・三星化学争議、最高裁でたたかう京王新労、郵政ユニオン20条裁判、明乳争議。話し合いを」と呼びかけました。

い、1200人が参加しました。主催者あいさつした絵がかり行動実行委員会共同代表・小田川義和全労連議長は「国会は閉幕したが解明すべき課題がたくさんあり、国会を休んでいる暇はない。国会を止めるな！国会再開を！と声をあげよう。改憲発議反対の署名を軸に運動を強めよう」と呼びかけました。
 6・26厚労省包囲要請行動「最賃を止めるな」 国民春闘共闘は6月26日、第56回中央最低賃金審議会開催にあたり、厚労省包囲要請行動を開催し、30人が参加しました。全労連・黒澤幸一事務局次長の主催者あいさつと、菊地亮太中央執行委員は、「コロナ禍だからこそ最低賃金を引上げて、中小企業支援の強化を政府の責任で政治決断してほしい」と訴えました。東京地評女性センターが東京都産労局と懇談
 東京地評女性センターは6月30日、東京都産業労働局と労働情勢懇談会を行い、テレワークや男女平等に関する女性施策などについて交流しました。この間の取り組みを紹介するとともに、とりわけテレワーク導入にあたっては、労働環境や労働時間の整備に関するきちんとした規制(労働協約等)を、と要望しました。【加盟組合の定期大会】